

## 正しいデータを用いた津波評価の再評価結果

### 1. はじめに

耐震安全性評価のうち津波評価において、発電所敷地の 3 箇所（3号機放水池波返擁壁、3号機取水口敷、南防波護岸付根の地形）において、標高データが一部誤っていたことから、正しいデータを用いて再評価を実施した。

### 2. 再評価結果

1・2号機および3号機の津波の数値シミュレーション結果を表－1に、津波に伴う砂移動の数値シミュレーション結果を表－2に示すとともに、耐震安全性評価結果報告書で変更となる図を示す。

再評価の結果、敷地における最高水位、1・2号機および3号機の取水口位置ならびに原子炉補機冷却海水ポンプ位置における最低水位に変更がないことを確認した。

表－1 津波の数値シミュレーション結果

	海域活断層に想定される地震に伴う津波		日本海東縁部に想定される地震に伴う津波	
	修正前	修正後	修正前	修正後
最大水位上昇量 (敷地前面)	6.24m	変更なし	9.55m	変更なし
最高水位 (敷地前面)	—	—	T.P. +9.8m	変更なし
最大水位下降量 (1・2号機取水口)	3.36m	変更なし	5.83m	変更なし
最低水位 (1・2号機取水口)	—	—	T.P. -6.0m	変更なし
最低水位 (1・2号機 SWP*位置)	—	—	T.P. -6.13m	変更なし
最大水位下降量 (3号機取水口)	3.40m	3.41m	6.06m	変更なし
最低水位 (3号機取水口)	—	—	T.P. -6.2m	変更なし
最低水位 (3号機 SWP*位置)	—	—	T.P. -5.95m	変更なし

※SWP：原子炉補機冷却海水ポンプ

表－2 津波に伴う砂移動の数値シミュレーション結果（取水口付近における堆積厚さ）

対象津波	対象号機	高橋ほか（1992）		藤井ほか（1998）		高橋ほか（1999）	
		修正前	修正後	修正前	修正後	修正前	修正後
上昇側	1・2号機	0.00m	変更なし	0.00m	変更なし	0.02m	変更なし
	3号機	0.00m	変更なし	0.00m	変更なし	0.01m	変更なし
下降側 (1・2号機)	1・2号機	0.00m	変更なし	0.00m	変更なし	0.03m	変更なし
下降側 (3号機)	3号機	0.00m	変更なし	0.00m	変更なし	0.01m	変更なし